



1月25日(日)

1. 安達貴教 (名古屋大学大学院経済学研究科)

「The Welfare Effects of Oligopolistic Third-Degree Price Discrimination When Own and Cross Price Elasticities Are Constants」

2. 中山雄司 (大阪府立大学経済学部)

「不確実性な市場需要の下での戦略的消費者の信念について」

#### ◇ワークショップの討論内容

・猪俣賢太郎「Profitable Competition : A Multi-Product Firm Case」

競合する川上企業 (2社) の各製品を川下企業 (2社) 各々が調達して、それを最終製品として消費者に販売する継起的複占の状況を想定して、企業間の垂直的取引関係を伴う製品市場における価格-数量競争モデルを分析している。排他的取引ではなく各々の川下企業が両方の川上企業から製品を調達して 2つの製品を販売する場合には、企業間競争が激烈になるほど (製品間の代替性の程度が高まるほど)、競合するすべての企業の利潤がより増加することが有り得ることを均衡分析をつうじて明らかにしている。

・善如悠介「High Profitability of Low Quality Firm in Two-Sided Markets」

競合する 2つのプラットフォームが互いに垂直的製品差別化されたハードウェア (ゲーム機) を各々ゲームユーザーに販売しており、複数のソフトウェア開発業者が各プラットフォームに向けてロイヤリティを支払ってゲームソフトを提供する状況を想定する。開発業者が高品質ハードウェア向けにゲームソフトを開発するときの開発コストほうが高いものと仮定すると、高品質プラットフォームのソフトウェアのバラエティ数が低くなるためユーザーの効用がより低くなり、品質の低いほうのプラットフォーム企業のほうがより高い利潤を得る場合がありうることをモデル分析により示した。

・丸山雅祥「Application Compatibility and Affiliation in Two-Sided Markets」

電子書籍市場においては、Amazon はアプリを互換にして、Apple iPad ユーザーにも Amazon Kindle ストアで購入した電子書籍を読めるようにさせている一方、それとは対照的に、Amazon Kindle ユーザーは Apple iTunes ストアで購入した電子書籍は読むことはできないという意味で、Apple はアプリを非互換にする戦略を採っている。電子書籍リーダーのユーザーとコンテンツプロバイダーという 2つの市場どうしのアフィリエーションに焦点をあて、競合するプラットフォーム間によるアプリ互換をめぐるこうした非対称的な戦略選択は、非協力・多段階ゲームにおけるナッシュ均衡として導出されることを示している。

・安達貴教「The Welfare Effects of Oligopolistic Third-Degree Price Discrimination When Own and Cross Price Elasticities Are Constants」

水平的差別化された製品を販売する寡占企業間の価格競争において、需要の自己価格弾力性および交差価格弾力性が一定のケースを想定して、企業の第3級価格差別政策（市場ごとに異なる価格設定）が経済厚生に及ぼす効果を分析する。第3級価格差別の実施が社会的厚生ないし消費者余剰を改善するための条件は、強市場（価格差別を実施すれば価格差別をしない場合よりも高い価格に設定されるほうの市場）における交差価格弾力性の値が弱市場のそれよりも十分に大きいことであることを明らかにした。

・中山雄司「不確実な市場需要の下での戦略的消費者の信念について」

市場に参加する（購買意志を持つ）消費者の数（市場需要）が不確実な場合の企業の最適な価格設定および在庫量の決定を分析した既存研究（Cachon and Swinney 2009）を批判的に検討した。第1期と第2期のどちらで購買するかを戦略的に決定する消費者は、市場需要に対してどのように信念を更新させると想定するのが合理的かについて、ベイジアンゲームの考え方をこのモデルにおいて徹底して考察するならば、既存研究の信念に関する想定は正しくないことを示した。

◇研究成果発表

丸山雅祥・善如悠介、「Application Compatibility and Affiliation in Two-Sided Markets」、*Economics Letters*, Volume 130, pp. 39-42, May 2015

成生達彦、『チャンネル間競争の経済分析』、名古屋大学出版会、2016